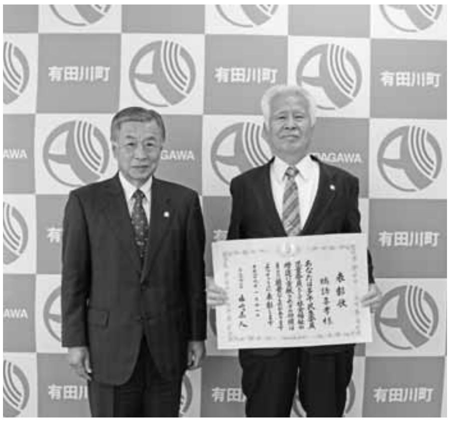

厚生労働大臣 特別表彰

橋詰 喜孝さん
（修理川）

橋詰さんは旧金屋町時代から民生委員児童委員として、地域福祉の向上にご尽力くださいました。

祝 100 歳

安藤サクさん（吉原）

有田川 防災まちづくり vol.18

弾道ミサイル落下時の行動

問 吉備庁舎総務課

弾道ミサイルは、発射からわずか 10 分もしないうちに到達するおそれがあります。ミサイルが日本に落下するおそれがある場合は、携帯電話への緊急速報メールや、防災行政無線などにより、緊急情報をお知らせします。

緊急情報を取得したら、

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合	建物がない場合	屋内にいる場合
できる限り頑丈な建物や地下に避難する	物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る	窓から離れるか窓のない部屋に移動する

なぜ頑丈な建物や、地下へ避難するのですか？

ミサイル着弾時の暴風や、破片などによる被害を避けるためには、屋内（できれば頑丈な建物）や地下への避難が有効だからです。